

地域連携事業一覧

令和7年3月31日現在

No.	年度	連携団体	活動団体等	事業名	活動計画及び取組状況
1	2024	呉市	看護学科	来んさいカフェ呉「認知症予防カフェ」	5月17日、8月9日、11月17日、12月20日、1月31日の5回開催し、認知症看護強化コースの学生も参加し、認知症予防体操、健康チェック、歌と演奏等や健康測定を実施した。延べ132名の高齢者の参加があった。アンケートの満足度も高くカフェプログラムにより参加者の健康認識を維持できている。学生との交流が参加継続に繋がり、学生にとっては高齢者理解の機会となっている。
2	2024	呉市	看護学科 保育学科	子育て支援研修会	8月5日から8月9日の5日間、呉市子育て施設課と看護学科及び保育学科の協働のもと短期大学サテライトキャンパス（阿賀）において開催した。参加者は13名であった。子育て支援、小児救急、おもちゃ相談、いじめ問題、造形表現、コラージュ、リトミック、今日の小児医療等の講義・演習、課題学習・発表会であった。参加者アンケートで9割が講義・演習内容ともに非常に良い、または良いと回答した。
3	2024	呉市	看護学科	健康教室	呉市阿賀延崎地区七夕会へ学生4名と教員1名が参加した。血圧測定、催し物の企画運営を通して高齢者との交流を図った（参加者20名）。
4	2024	呉市	看護学科	潜在保育士就職支援セミナー	9月6日、9月13日の2日間にわたり開催した。このセミナーは呉市と広島文化学園大学看護学部が協働して現在保育士をしていない保育士資格保有者を対象に、保育所就職に必要な知識・技術等を学び、保育士としての就職を支援することを目的としている。今年度は、保育士として勤務経験がある方ない方を合わせて9名の参加があった。セミナーの内容は保育所就職に必要な知識・技術として、おもちゃ相談、人間関係論、いじめ問題、小児保健の講義、就職に関する情報提供などであった。呉市と連携し保育士が現場で活かせる知識・技術の提供、就職支援につながっている。
5	2024	呉市	看護学科	広島県・呉市総合防災訓練	呉市消防局の依頼で、学生20名が9月25日事前説明会受講し、10月5日には傷病者役として防災訓練に参加した。大規模地震発生を想定した訓練であり、防災関係機関、県民、企業、自主防災組織等が参加した（約500名）。
6	2024	呉市	看護学科	アカデミア事業	呉市阿賀地区における教育機関と地域の連携により、将来有為な人材を継続的に育成し、地域を活性化することを目的としたアカデミア事業における定期的な協議会に参加するとともに、10月9日に開催された津波避難訓練には4年生74名が参加し、地域住民と避難後に防災研修会を開催し、クリーンupザAGIにも参加した。
7	2024	呉市	看護学科	世界エイズデー街頭キャンペーン	11月29日に「世界エイズデー」HIV（エイズ）に関心を持ってもらい、正しい知識の普及を図ることを目的として開催された「世界エイズデーキャンペーン」において学生6名が参加し、呉保健所職員と一緒に安芸阿賀駅前地域住民へ小冊子等を配布した。
8	2024	呉市	看護学科	子ども虐待防止啓発活動	11月30日、子ども虐待防止啓発活動としてボランティアサークルの学生が安芸阿賀駅、呉駅周辺でオレンジリボンを配布した。
9	2024	呉市	看護学科	クリスマスサロン	12月15日、呉第2区民生委員児童委員協議会からの依頼により、吹奏楽サークル学生6名が参加し、クリスマス飾り作り・飾り付け、楽器演奏等を通して地域住民と交流した（約70名）。
10	2024	呉市	看護学科	習慣化したアプリを利用したフレイル予防事業	呉市高齢者支援課と連携し、習慣化アプリを利用したフレイル予防事業として、アプリの使い方教室と交流会の運営を学生2名がサポートした。
11	2024	呉市	看護学科	サービ斯拉ーニングの展開	「地域生活と文化」の授業を履修した1年生26名が呉市職員や商店経営者へのインタビューを実施し、呉・阿賀地域の空き家問題等を調査し課題を検討した。発表会を開催して教員を交えて振り返りを実施でき、地域課題を学習する機会となった。
12	2024	坂町	スポーツ健康福祉学科	坂町まちかど特派員	坂町の募集する「坂町魅力発信まちかど特派員」に応募し、今年度3名が活動します。同特派員は、町のさらなる活性化に向けて坂町が企画したプロジェクトの活動メンバーで、毎月1回程度、坂町ホームページ「日帰りなさいませ坂町へ」に掲載される記事を投稿した。

13	2024	坂町	スポーツ健康福祉学科	学生が教えるシニア向けスマホ教	12月9日、坂町、ソフトバンク及び本学の産学官連携によるスマホ教室を鯛尾地区のいきいき百歳体操への参加者11名を中心に開催した。スマホの基本操作や坂町公式 LINEの使い方、スマホに関するお困りごとについて、学生スタッフが支援を行った。
14	2024	坂町	人間健康学研究科	スポーツ講演会	12月7日に坂キャンパス大講義室において、元パラ・アスリートの新田恵子さんを講師として招き、「新田恵子トークショー」を開催した。地元坂町民や本学学生など97名の参加があった。
15	2024	坂町・坂町教育委員会	人間健康学研究科	ブラインドサッカー体験会	1月31日(金)、本学坂キャンパスの健康福祉ホールにおいてパリパラリンピック ブラインドサッカー代表の後藤将起選手を講師に招き、坂中学校の3年生114名がブラインドサッカーを体験した。初めて体験する生徒も多く、恐る恐るドリブルやキックに挑戦していたが、ブラインド・サッカーの楽しさを味わった。
16	2024	坂町	スポーツ健康福祉学科	ようよう坂町ウォーキング	広島安芸商工会坂支所、広島文化学園大学、坂町の産学官が、月1回持ち回りでウォーキング大会を行い、健康づくりを兼ねた町おこしをねらいとした「ようよう坂町ウォーキング」を4月7日、10月20日、2月2日の3回企画運営した。参加者は延べ延べ40名の参加があった。
17	2024	坂町	スポーツ健康福祉学科	補助競技役員の派遣	11月17日に坂町内コースで開催された第33回広島ベイマラソン大会の補助競技役員に5名の学生、3月23日に開催された第14回悠々坂町ウォーキング大会の運営役員に3名の学生を派遣し、各大会の競技運営を支援した。
18	2024	安佐南区	子ども学科・コミュニティ生活学科・食物栄養学科・保育学科	ワクワクながつかとうべ祭	11月16日に開催された「第10回ワクワクながつかとうべえ祭り」の実行委員となり、造形活動に親しむ活動遊び「プラバンづくり」(子ども学科)、「絵本無料配布」(350冊)、「シャカシャカレジンをつくってみよう」(コミュニティ生活学科)、「サッと!食事診断」(食物栄養学科)、乳幼児が遊べる「迷路」や「おもちゃづくりコーナー」(保育学科)を学生と教員で企画・実施した。多くの親子連れが来場し、大変にぎわった。
19	2024	安佐南区	広島文化学園子ども・子育て支援センター	子育て支援活動「ぶんぶんひろば」	「ぶんぶんひろば」は、広島文化学園子ども・子育て支援研究センターの活動の1つとして、2010年5月から活動を始めた子育て支援のための施設である。子育てに関する情報交換ができるほか、相談内容によっては教員や専門機関につなぐ必要に応じて個別支援も行っている。また、学生が授業での学びを披露する「小さな音楽会」や「ぶんぶんクラブ」の学生ボランティアと一緒に遊びを提供することもある。 実施回数：36回 参加人数：延べ353組784名 スタッフ：大学教員と保育士(2人)
20	2024	安佐南区	音楽学科	区の魅力と活力向上推進事業(小さな音楽会)	安佐南区役所では、区の魅力を高め、地域への愛着と誇りが持てるまちづくりを進めるため、音楽学科と連携し「小さな音楽会」をスタートさせ、今年で15年目の開催となった。 4月：ユーニフォニアム四重奏 5月：フルート・トランペット・ピアノの三重奏 6月：ピアノ連弾 7月：フルートとピアノ 8月：サクソフォンとピアノ 9月：ポピュラーアンサンブル 11月：ユニット AQUA 12月：クリスマスコンサート
21	2024	呉地域オープンカレッジネットワーク会議	スポーツ健康福祉学科	学生の夢実現プロジェクト「HBGキッズ・アスリート・プロジェクト くれ夢の陸上キャラバン隊	本プロジェクト事業では、中・高校時代に陸上競技に挑戦し、大学でスポーツ指導の専門的な学修をしている本学陸上競技部員を、呉地域の小学生陸上クラブの練習会に派遣し、小学生の夢実現に貢献することを目的としたものである。 ①小学生陸上クラブへの講師派遣 回数：4/13から3/1までの18回、参加者数：延べ757名 派遣指導者数：延べ72名
22	2024	広島市教育委員会	音楽学科	吹奏楽部指導	広島市教育委員会の依頼により、広島市内の中学校及び高校の吹奏楽部の外部指導者として指導に携わった。
23	2024	鈴張老人クラブ 鈴張女性会 安佐公民館	音楽学科	ふれあい音楽会	鈴張集会所において「鈴張タノシビト出前講座」として鈴張老人クラブ、鈴張女性会、朝公民館と共催で実施し、学生3名と教員1名が参加した。

24	2024	JA広島市	食物栄養学科	祇園パセリのレシピ開発と手作りみそ作り	11月3日に食物栄養学科の学生7名と教員1名が、JA広島市主催の安佐南区農業祭に参加し、「祇園パセリを使った餃子」を販売し、祇園パセリの魅力をたくさんの方に伝え、生産者や関係団体との交流を行った。また、1月12日には食物栄養学科1年生11名が手作りみそを使った料理教室（地産地消でみそ作り）をJA広島市祇園支店とJA広島市レディースクラブ武田山支部の会員や職員を対象に開催した。
25	2024	広島市農業振興協議会 祇園町農事研究会	食物栄養学科	祇園パセリのレシピ開発	祇園パセリは、国内では珍しい品種で葉が細かく縮み、濃い緑の緑黄野菜で一年中栽培される広島市伝統野菜である。広島県産応援登録商品として、市内のスーパー等で販売され、惣菜店やレストラン等でも食材として用いられている。これまで長年研究してきた祇園パセリの様々な料理をふまえ、7月に教員1名、学生2名がJA広島市祇園支店において祇園パセリの特徴を生かした新しいパセリ料理を検討する協議会に参加した。さらに、10月26日に食物栄養学科1年生6名と教員1名が、広島城周辺で開催された「ひろしまフードフェスティバル」の「広島市 ひろしまそだち 祇園パセリ」ブースにて、連携協定を結んでいる祇園町農事研究会の皆さんと一緒に活動した。
26	2024	広島市安佐南区食品衛生協会	食物栄養学科	一日食品衛生監視員	8月1日（火）に広島市安佐南区食品衛生協会より一日食品監視員の委嘱を受け、区内の大規模簿スーパー2店舗を訪問し、保健所の食品衛生監視員の指導のもと食品営業施設を巡視した。また、市民に食中毒予防を呼び掛けた協会所属の食品衛生指導員も交えて学生、消費者、行政、協会の立場からHACCPの取組状況について意見交換会を実施し、活発な意見交換を行った。
27	2024	安佐北区「むつみ会」	コミュニティ生活学科	ネイル体験教室	「ネイリスト研修」の授業を履修しているコミュニティ生活学科の2年生とネイル担当講師が、9月19日に安佐北区のむつみ会が主催する「地域サロン」でネイル体験教室を行った。今年は10名の方が参加し、学生と楽しく話しながらネイルを楽しんでいただいた。仕上がった指先を見せ合いながら喜んでくださる様子に学生達も嬉しく思い、またこの経験が学生の自信に繋がったと思われる。
28	2024	温品公民館	コミュニティ生活学科	ネイル体験教室	コミュニティ生活学科2年生の「ネイリスト研修」を受講している学生が、10月23日に温品公民館で行われた、乳幼児を持つ保護者を対象にジェルネイル施術体験を行いました。7名のお母さんたちはとても楽しそうに学生と話しながら色やデザインを選び、ゆっくりとした時間を過ごせたと大変喜んでくださいました。
29	2024	一般財団法人 広島市原爆被爆者協議会	食物栄養学科	骨密度測定、健康相談	11月10日に食物栄養学科の学生4名と教員1名が神田山荘にて、一般財団法人広島市原爆被爆者協議会が主催する骨密度測定、健康相談を実施した。学生は日頃の知識をもとに一人ひとりに対応した健康相談を行い、参加者の方々とお話を楽しんだ。
30	2024	安佐南区長東西学区社会福祉協議会	食物栄養学科	お弁当配食サービス	11月20日と12月18日に地元長東西学区社会福祉協議会と連携して、地域の高齢者の方々にお弁当の配食サービスを行った。この活動は1年生のセミナー活動の一環として行っており、大量調理の実践にもなっている。学生たちは分担を決めて、調理、メッセージカード作り、50食の配食に心をこめて取り組んだ。
31	2024	安佐南区長東西学区社会福祉協議会	食物栄養学科	ひとり暮らし高齢者にクリスマスプレゼント	12月5日、食物栄養学科の1年生を中心に、大学近隣にお住いのひとり暮らし高齢者の方々に、クリスマスプレゼントをお届けした。スイーツ4種(2種のパウンドケーキ、トナカイケーキ、ミニスコーン、スノーボールクッキー)とプレゼント(モコモコくつした、ティーセット)、クリスマスカードを添えました。栄養士をめざす学生たちが、食で人に笑顔を届けたいとの思いを込め、心のこもったクリスマスプレゼントを完成させました。プレゼントは食物栄養学科1年生と安佐南区長東西学区社会福祉協議会の方々協力して配達した。
32	2024	広島県インクルーシブフットボール連盟・坂町教育委員会	スポーツ健康福祉学科	ブラインドサッカー体験が小学生の視覚障害者観に与える影響についての調査研究	本調査研究では、ブラインドサッカーを体育の授業内で体験することで、小学生の視覚障害者観が肯定的に変化した結果から、障害当事者との体験の重要性を明らかにした。
33	2024	慈楽福祉会	スポーツ健康福祉学科	地域福祉人材育成プログラム	慈楽福祉会において、慈楽福祉会と連携を図りながら、高等教育機関に対して求められている社会連携・産学連携として、地域の医療・福祉人材を育成するプログラム（「いきいき健康ダンス+10」体験と内容解説、現場との意見交換）を実施した。慈楽福祉会（ディサービス・ケアハウス）の職員及び本学の教職員及び学生が参加し、福祉施設の現状や福祉人材の育成について協議を行った。（出席者：18名：慈楽福祉会14名、本学4名）

34	2024	株式会社サンフレッチェ広島	スポーツ健康福祉学科	選手の試合中及び練習中の移動距離、移動速度及び心拍数を測定と指導	サンフレッチェ広島FCジュニアユース及びサンフレッチェ広島FCユースに所属する選手の試合中及び練習中の移動距離、移動速度及び心拍数を測定し、そこから得られたデータを使用して運動強度等の指導をした。
35	2024	株式会社フレスタ	食物栄養学科	第26回お弁当献立コンテスト	食物栄養学科では、毎年高校生を対象に「お弁当献立コンテスト」を開催している。第26回目を迎えた今年のお弁当献立コンテストには、献立部門62点、メッセージカード部門85点の応募がありました。延べ160名の高校生が一生懸命考え、作成してくださった献立やメッセージカードの中から慎重な審査の結果、献立6点とメッセージカード3点及び団体賞1校を入賞と決めた。残念ながら入賞を逃した作品の中にも素晴らしい作品はたくさんありました。どの作品にも皆さんの優しい思いが込められていた。
36	2024	株式会社フレスタ	食物栄養学科	食育講座	栄養士をめざす2年生たちが、フレスタ長束店で食育講座「冬至とおいしい食」を開催した。この食育講座は、「栄養指導各論実習II」を受講している学生がグループに分かれ、対象者に合った栄養指導の計画や方法を自分たちで考え作り上げていく。リハーサル後に修正を行い、フレスタチームの6名が本番を迎えた。当日は、お客様8名にご参加いただき、緊張の中、学生たちは大きな声で一生懸命説明した。テーマに合わせて考えたレシピ提案や試食も大変好評だった。
37	2024	モンテドール株式会社	子ども学科	商品開発	「基礎ゼミナールⅢ」及び「アドバンストセミナーⅢ」において、安佐南区山本にある洋菓子店「ハーベストタイム」及びベーカリー「スギタベーカリー」を運営するモンテドール株式会社と商品開発に取り組み製品を完成させ、あかね祭で販売した。